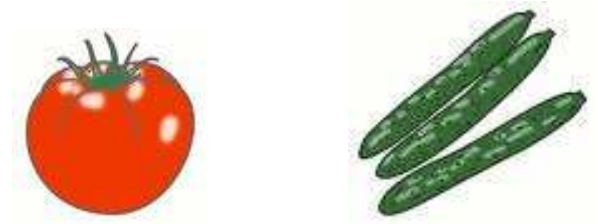


トマト・キュウリの生産者・経営者が一堂に会し  
さらに一段上の経営と技術を研鑽

## 第1回

# トマト・キュウリ サミット



日時 3月2日(水)～3日(木)

会場 東京・江戸川「タワーホール船堀」

主催 全国野菜園芸技術研究会

トマト・キュウリ サミット実行委員会

**同時開催 園芸資材・種苗・機器展示会**

# 第1回 トマト・キュウリ サミット

## 開催要領

### 1. 趣 旨

農業の国際化が進展するなかで、加工・業務用野菜の輸入が急増、定着化が進んでいます。これらに対し、わが国の農業を維持・発展させるためには、国産農産物の国際競争力を強化することが急務となっています。施設園芸においても、食に対する安全・安心への関心の高まりに応えながら、収益性の高い経営を実践するため、消費者や実需者が求める品質・数量の安定供給と販売の工夫が求められております。さらに、施設園芸経営を圧迫している原油価格高騰等に対応した省エネルギーと安定生産技術の両立が課題となっています。

本サミットでは、第一線で活躍している全国のトマト・キュウリの施設園芸生産・経営者に参加いただき、トマト・キュウリ生産が抱える諸問題の解決に参考となる新技術や生産事例等を紹介し、足腰の強いトマト・キュウリ経営の実現を図ることを目的に開催します。

2. 主 催 全国野菜園芸技術研究会、トマト・キュウリ サミット実行委員会

3. 後 援 農林水産省  
J A全農  
(社) 日本施設園芸協会

4. 協 賛 全野研協賛会

5. 特別協賛 (株)農協観光

6. 期 日 平成23年3月2日(水)～3月3日(木)

7. 会 場 東京・江戸川区「タワーホール船堀」(都営地下鉄船堀駅徒歩1分)  
5階・小ホール、1階・展示ホールほか  
〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 (Tel. 03-5676-2211)

### 8. 日 程

#### 3月2日(水)

- |             |  |
|-------------|--|
| 12:00       | 開場 機器資材展見学   |
| 13:00～13:20 | 開会 主催者挨拶<br>来賓挨拶：農林水産省、(社) 日本施設園芸協会、J A全農              |
| 13:20～14:00 | 農林水産省における施設園芸の推進方策と生産支援策<br>農林水産省生産局生産流通振興課課長補佐 阿部尚人 氏 |
| 14:00～15:00 | 太陽光利用型植物工場に学び、栽培技術に活かす<br>千葉大学大学院園芸学研究科准教授 丸尾 達 氏      |
| 15:00～15:30 | 機器資材展見学  |

### 【トマト分科会】

15:30~16:00	私のトマト経営	栃木県宇都宮市	長嶋智久 氏
16:00~16:30	私のトマト経営 (コーディネーター)	宮城県仙台市 板木技術士事務所所長	嶺岸雄二 氏 板木利隆 氏

### 【キュウリ分科会】

15:30~16:00	私のキュウリ経営	埼玉県加須市	佐久間尉匡 氏
16:00~16:30	私のキュウリ経営 (コーディネーター)	新潟県新潟市 MKVドリーム技術顧問	成田稔雄 氏 稲山光男 氏
(休憩)			
17:00~18:00	儲かる野菜づくりのポイント J A全農青果センター 代表取締役社長	岩城晴哉 氏	
18:30~20:30	交流・懇親会 (オプション)		

### 3月3日 (木)

9:00	開場、機器資材展見学		
9:30~11:00	パネルディスカッション「高品質・高収益施設園芸経営を目指して」 パネリスト トマト生産者 茨城県結城市 キュウリ生産者 神奈川県平塚市 農林水産省生産局生産流通振興課課長補佐 中央農業総合研究センター マーケティング研究チーム長 野菜茶業研究所高収益施設野菜チーム長 (社) 日本施設園芸協会事務局 MKVドリーム技術顧問 コーディネーター 板木技術士事務所所長	鈴木一弘 氏 吉川 猛 氏 阿部尚人 氏 佐藤和憲 氏 高市益行 氏 吉岡 宏 氏 稲山光男 氏 板木利隆 氏	
11:00~11:30	機器資材展見学		
11:30~12:30	特別講演 ミネラルの働きと作物の健康 東京農業大学客員教授 (兵庫県立農業大学校)	渡辺和彦 氏	
12:40	閉会		

### 9. 参加区分・参加費

A = 両日のサミット全体会・分科会のみ	2,000円 (資料代として)
B = A + 交流・懇親会	7,000円 (交流・懇親会費 = 5,000円)
C = A + B + 宿泊	15,000円 (宿泊費 = 8,000円)

